

南海トラフ巨大地震を想定した「宮崎市津波ハザードマップ」 概要

1 目的

大規模な災害が発生した際に被害を最小限に抑えるため

2 被害想定

宮崎県が平成 25 年 2 月に公表した「南海トラフ巨大地震における津波浸水想定」

3 掲載事項

浸水域、浸水深、一時避難場所、津波避難ビル、避難階段、指定避難所、避難方向、官公庁施設、危険箇所（急傾斜地など）、地震のメカニズムや平常時の心得など

県内では初めて、平成 25 年 9 月に県が公表した震度分布図、液状化可能性分布図も掲載

4 特記事項

- ・宮崎市地震・津波対策専門委員の宮崎大学原田教授や村上准教授からの指導・助言
- ・浸水地域の自治会長等に対し住民説明会を開催し、その声を反映

5 配布方法

自治会加入世帯（市全域）

自治会便により 12 月 15 日までに自治会長に送付後、各家庭に配布

その他

危機管理課、市総合案内、各総合支所・地域センター・地域事務所等の窓口で配布、宮崎市ホームページへの掲載

6 利用方法・啓発方法など

家族や地域・職場の状況を確認し、避難場所や避難経路などについて確認

地域の防災訓練で活用

地域ごとの防災マップを作成

出前講座などでハザードマップの見方や使い方などを周知

7 その他

- ・ A4 判 4 色刷 32 ページ（表紙含む）
- ・ 事業費：約 1,400 万円、印刷部数：20 万部

問い合わせ先

危機管理課（ 21-1730 ）